



春江だより

第7号

平成24年11月 1日

改築のための工事が始まりました

副校長 鷺田 睦

先週から、いよいよ本格的に工事が始まりました。まずは校庭に仮設校舎を建設するための準備です。10月末までの様子をまとめました。

- ① 校庭に立ち入れないように3mぐらいのフェンスが建てられました。
- ② 遊具や運動施設が撤去されました。
- ③ 建設に支障のある木々などが伐採・移植されました。

フェンスは現校舎から5m離れた所に建てられ、1階から校庭は全く見えなくなりました。(2階以上からはよく見えますが)

次の日から、遊具などの撤去が行われました。大型の鉄のはさみのようなものがついた重機で、頑丈なパイプがストローを切るようにスパスパとカットされていきます。鉄棒、登り棒、ジャングルジム、うんてい等、先日まで子供たちの元気な声が響いていた遊具達は見事に鉄くず・瓦礫と化しました。

次は、木々の番です。桜や柿や椿などがチェーンソーで・・・(以下上段と同じ)。見事に丸太材となりました。

現在、校庭はがらんとした空き地状態です。11月からはいよいよ仮設校舎の基礎工事が始まるようです。

こうして日々校庭の様子が変わっていくのを見ていると、新校舎への移転という素晴らしい事業の影で、古いけれど愛着のあったよきものが失われていく寂しさを感じずにはいられません。それが今いる子供たちだけでなく、ここを巣立っていった多くの卒業生やその保護者の方々、地域の方々のたくさんの思いが詰まったものであればなおさらです。

せめて、一つ一つの工程を、しっかり見つけて写真などに残すとともに、静かに心の中で「今までありがとう、さようなら」と念じる毎日です。

工事の様子は随時学校ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

